

病防第38号  
令和2年（2020年）6月25日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）  
このことについて、発生予察特殊報第2号を公表しましたので送付します。

## 特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第2号

令和2年（2020年）6月25日

熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 トルコギキョウ茎腐病
- 2 病原菌 *Fusarium avenaceum* フザリウム アベナセウム
- 3 発生作物 トルコギキョウ（リンドウ科）
- 4 発生確認の経過  
令和元年（2019年）12月、県内の施設栽培のトルコギキョウで、萎凋症状（図1）を呈し、葉や茎が淡褐色に変色する株が確認された。現場ほ場から検体を採取、菌分離し、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、本病であることが判明した。
- 5 国内の発生状況  
本病害は昭和61年（1986年）頃に北海道においてトルコギキョウで初めて確認された。
- 6 病徴  
茎でははじめ表面から褐変し、髓部に腐敗を生じる。その後、茎の一部が縦方向に淡褐変を生じ、上位へと進展する。発病が進むと地際部に亀裂が表れ、白綿毛状の気中菌糸（図2）や、橙色の分生子塊（図3）が形成されることが多い。さらに、根は褐色に変色し腐敗する。
- 7 防除対策
  - 1）本病に対する登録農薬はないため、発病株は見つけ次第ほ場外に持ち出し、適切に処分する。
  - 2）発生ほ場では、必ず太陽熱消毒を徹底する。  
なお、罹病残渣は伝染源になるため、消毒を行う前に、根等の残渣を土壌中へ残さないように丁寧に除去する。
  - 3）ほ場の排水を良好にする。

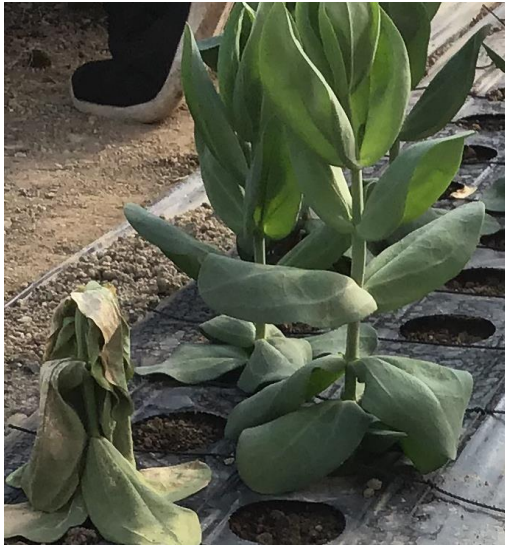


図1 茎葉の萎凋症状  
左：発病株 右：健全株



図2 地際部の白綿毛状の気中菌糸



図3 菌糸と橙色の分生子塊



図4 大型分生子

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所

〔 農業研究センター 生産環境研究所  
病害虫研究室 予察指導係 〕

担当：丹、中村 TEL：096-248-6490